



[平成20年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

くらしき作陽大学 子ども教育学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 作陽学園  
平成22年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 教育企画部教育支援室

職名・氏名 シツチョウ オオタ トクジ  
室長 太田 篤二

電話番号 086-523-0827

（夜間）

F A X 086-523-0811

e-mail ota@ksu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

# <目 次>

1. 調査対象大学等の概要
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況
6. 留意事項に対する履行状況等
7. その他全般的事項

別紙

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 作陽学園

## (2) 大学名

くらしき作陽大学

## (3) 大学の位置

〒710-0192

岡山県倉敷市市玉島長尾3515番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(マツダ ヒデキ) 松田 英毅 (昭和48年7月)		
学長	(マツダ ヒデキ) 松田 英毅 (昭和62年7月)		
学部長	(ヤマノイ アツノリ) 山野井 敦徳 (平成20年4月)		
学科長等	(シンノ トモコ) 進野 智子 (平成20年4月)	(タクマ シンペイ) 詫間 晋平 (平成20年4月)	一身上の理由による 平成21年4月1日(21)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
子ども教育学部 子ども教育学科 学士(子ども教育学)	年 4	人 80	3年次 20	人 360	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度			平均入学定員超過率	備 考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	( - ) 人 80	( - ) 人 80	( 20 ) 人 80	0.79  倍	編入学定員超過率を除いた倍率は1.00倍である。
志願者数	( - ) 121	( - ) 123	( 3 ) 188		
受験者数	( - ) 117	( - ) 119	( 3 ) 183		
合格者数	( - ) 108	( - ) 113	( 3 ) 165		
B 入学者数	( - ) 71	( - ) 64	( 3 ) 107		
入学定員超過率 B/A	( - ) 0.88	( - ) 0.8	(0.15) 1.33		

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。  
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度			備 考
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[ - ] 71	[ - ] 64	[ - ] 107	
2年次	/	[ - ] 69	[ - ] 62	
3年次	/	/	[ - ] 70	
4年次	/	/	/	
計	[ 71 ] 71	[ 133 ] 133	[ 239 ] 239	

- (注) ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ ] 2	計 [ ] 71	[ ] % 2.8 %
	うち平成20年度入学者 2 人	うち平成20年度 71 人	
	(主な退学理由) ・就職 1人 ・進路再考 1人		
平成21年度	計 [ ] 4	(累積)計 [ ] 133	[ ] % 3.0 %
	うち平成20年度入学者 1 人	うち平成20年度 69 人	
	うち平成21年度入学者 3 人	うち平成21年度 64 人	
	(主な退学理由) ・除籍 2名 ・進路再考 2名		
平成22年度	計 [ ] 0	(累積)計 [ ] 239	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 70 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 62 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 107 人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 [ ] 0	(累積)計 [ ] 0	[ ] % %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学
  - ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

## 2 授業科目の概要

<子ども教育学部 子ども教育学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
一般教養科目 教養に関する科目	宗教Ⅰ	1前	1									集中  全学合同クラスにするため、配当期を変更(22)  届出教員の体調不良により、22年度開講せず(22)  大学指定の講演等を聴講し、一般教養の知識習得を目指す主旨により、科目追加(22) 教員増員に伴う追加(22) 教員増員に伴う追加(22) 通年科目を前後期開講科目に変更(22)
	宗教Ⅱ	1後	1									
	宗教Ⅲ	2前	1									
	宗教Ⅳ	2後	1									
	人といのち	1前		2								
	人と地球	1前		2								
	アウトドア実習	2前		1								
	日本国憲法	1前		2								
	国際社会の法	2前		2								
	日本の歴史と文化	2前		2								
	国際文化論	2後		2								
	芸術文化論	2後		2								
	コンピュータ演習Ⅰ	1前		1				1				
	コンピュータ演習Ⅱ	1後		1				1				
	哲学	1前		2								
	心理学概論	1後		2			1					
	生物学	1前		2								
	コミュニケーション論	1後		2			1					
	人間形成論	1前		2								
	日本文学	1後		2			1					
	特別講義			2								
	教養基礎	1前		2		9 6	5	4 3	1			
	教養ゼミ	1後		1		9 6	5	4 3	1			
	アセンブリー・アワーⅠ	1前		1		1						
	アセンブリー・アワーⅡ	1後		1		1						
小計 (25科目)	—		9	31	0	9	5	4	1	0		
外国語	英語Ⅰ	1前	1									
	英語Ⅱ	1後	1									
	英語Ⅲ	2前	1									
	英語Ⅳ	2後	1									
	英語Ⅴ	3前		1								
	英語Ⅵ	3後		1								
	英会話Ⅰ	3前	1									
	英会話Ⅱ	3後	1									
	中国語Ⅰ	1前		1								
	中国語Ⅱ	1後		1								
	イタリア語Ⅰ	1前		1								
	イタリア語Ⅱ	1後		1								
小計 (12科目)	—		6	6	0	0	0	0	0	0		
体育	スポーツ実技	2前	1				1					
	健康科学	2後	1				1					
	小計 (2科目)	—	2	0	0	0	1	0	0	0		
中 計 (39科目)	—	17	37	0	9	5	4	1	0			

<子ども教育学部 子ども教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
子どもの教育および保育の本質・目的の理解	社会福祉概論	1前		2		1	+					届出教員辞任のため、変更(22)
	社会福祉援助技術Ⅰ	1後		1								届出教員体調不良により、非常勤講師へ変更(22)
	社会福祉援助技術Ⅱ	2前		1								
	保育原理Ⅰ	1前	2				+					届出教員体調不良により、非常勤講師へ変更(22)
	保育原理Ⅱ	1後		2			+					
	養護原理	1前		2			1					届出教員体調不良により、非常勤講師へ変更(22)
	子ども教育学	3後		2			+					
	児童福祉	1前		2		1		+				届出教員辞任のため、変更(22)
	地域福祉	3後		2								
	児童館の機能と運営(児童クラブを含む)	3前		2								
	教育学概論	1前	2				1					
	子ども理解と遊びⅠ	2前		1					1			
	子ども理解と遊びⅡ	2後		1					1			
	教職概論	2後	2				1					
	教育社会学	3前		2			1					集中
	児童の健全育成と推進	3後		2								
	特別支援教育総論	1前		2			1					特別支援学校教諭免許課程認定のため、科目を追加(21) 担当 認開審平(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定可(21)
	重複障害児教育総論	1後		2								特別支援学校教諭免許課程認定のため、科目を追加(22)
	発達障害児教育総論	4前		2			1					特別支援学校教諭免許課程認定のため、科目を追加(22)
小計 (19科目)		—	6	28	0	5	0	1	0	0		
子どもの理解	小児保健Ⅰ	1前		2		1						学生の専門性を高めるため、変更(22)
	小児保健Ⅱ	1後		2		1						
	小児保健実習	2前		1			+					学生の専門性を高めるため、栄養学科専任教員へ担当を変更(22)
	小児栄養演習Ⅰ	1前		1			+					
	小児栄養演習Ⅱ	1後		1			+					
	子どもの精神保健	2前		2		1						
	家族援助論	3前		2					1			
	現代家族論	2後		2					1			
	家族心理学	2前		2					1			
	子どもの発達障害	1後		2		1						
	子どもの身体障害	2前		2		1						
	子どもの食育	4前	2			1						
	子どもの食育演習	4後		1								
	子ども文化論	4前		2						1		
	教育心理学	1後	2					1				
	発達心理学Ⅰ	1前	2				+	1				教員辞任のため、変更(22)
発達心理学Ⅱ	1後		2			+	1					
知的障害児の心理・生理・病理	4前		2						+		届出教員が非常勤講師へ変更のため(22)	
肢体不自由児の心理・生理・病理	4後		2		1							
病虚弱児の心理・生理・病理	4後		2		1							
小計 (20科目)		—	6	30	0	2	1	1	1	0		
専門科目に関する科目	乳児保育Ⅰ	1後		1								届出教員辞任のため、変更(22)
	乳児保育Ⅱ	2前		1								
	障害児保育Ⅰ	2前		1		1	+					届出教員辞任のため、変更(22)
	養護内容	1後		1		1						
	障害児保育Ⅱ	3後		1		1	+					届出教員辞任のため、変更(22)
	子育て支援論	4前		2					1			
	子育て支援実践	4後		1				1	1			
	インターンシップ	3後		1		1		1				
	音楽療法演習Ⅰ	4前		1								
	音楽療法演習Ⅱ	4後		1								
	リトミックⅠ	3前		1								
	リトミックⅡ	3後		1								
	ピアヘルパー	2前		2				+				届出教員が非常勤講師へ変更のため(22)
	在宅保育	3後		2		1						
	子どもの遊びと生活	4前		2					1			
子育てカウンセリング論	3後		2					1				
子育てカウンセリング演習	4前		1					1				

<子ども教育学部 子ども教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
子どもの教育および保育の内容・方法の理解	コミュニティワーク演習	4前	2									
	国語科指導法(書写を含む)	3前	2				1					
	社会科指導法	3後	2									
	算数科指導法	3前	2			1						
	理科指導法	3後	2			1						
	生活科指導法	3前	2			1						
	音楽科指導法	2後	2									
	図画工作指導法	3前	2									
	家庭科指導法	3前	2			1						
	体育科指導法	3後	2									
	保育内容総論Ⅰ	1後	2			1						
	保育内容Ⅰ(健康)	2前	1									
	保育内容Ⅰ(人間関係)	2前	1					1				
	保育内容Ⅰ(環境)	2前	1									
	保育内容Ⅰ(言葉)	2前	1			+			1			届出教員辞任のため、変更(22)
	保育内容(音楽表現)	1後	1									
	保育内容(造形表現)	1前	1				1					
	保育内容(身体表現)	1後	1									集中
	保育内容総論Ⅱ	2前	2			1						
	保育内容Ⅱ(健康)	2前	1									
	保育内容Ⅱ(人間関係)	2前	1						1			
	保育内容Ⅱ(環境)	2前	1									
	保育内容Ⅱ(言葉)	2前	1			+				1		届出教員辞任のため、変更(22)
	知的障害児の教育Ⅰ	2後	2								+	届出教員が非常勤講師へ変更のため(22)
	肢体不自由児の教育Ⅰ	2前	2			1						
	病虚弱児の教育Ⅰ	2前	2									集中
	知的障害児の教育Ⅱ	3後	2								+	届出教員が非常勤講師へ変更のため(22)
	肢体不自由児の教育Ⅱ	3前	2			1						
	病虚弱児の教育Ⅱ	3前	2									集中
	小計 (46科目)	—	9	44	0	5	3	1	1	0		
子どもの教育および保育の基礎技能	音楽Ⅰ(ピアノ)	1通	2									
	音楽Ⅱ(ピアノ)	2通	2									
	音楽Ⅲ(ピアノ)	3通	2									
	音楽Ⅳ(ピアノ)	4通	2									
	音楽Ⅴ(ソルフェージュ)	1通	2			1						
	音楽Ⅵ(声楽)	2通	2			1						
	音楽Ⅶ(声楽)	3通	2			1						
	音楽Ⅷ(弾き歌い)	4通	2			1						
	図画工作Ⅰ	2前	1					1				
	図画工作Ⅱ	2後	1					1				
	体育Ⅰ	2前	1					1				
	体育Ⅱ	2後	1					1				
	国語Ⅰ(書写を含む)	1前	2					1				
	国語Ⅱ(書写を含む)	1後	2					1				
	算数Ⅰ	1後	2						1			
	算数Ⅱ	2前	2						1			
	生活Ⅰ	2前	2			1						
	生活Ⅱ	2後	2			1						
	社会Ⅰ	2後	2									
	社会Ⅱ	3前	2									
	家庭Ⅰ	2後	2			1						
	家庭Ⅱ	3後	2			1						
	理科Ⅰ	2後	2			1						
	理科Ⅱ	3前	2			1						
小計 (24科目)	—	8	36	0	4	3	1	0	0		教員退職に伴う、担当科目の変更(22)	
子どもの教育および保育のための実習(実習)	保育実習Ⅰ	2通	5			+	1		1	1		実習担当者教員を変更 清水真里子講師 (22) 施設実習専任のため、教員追加 浅野泰昌助教 (22)
	保育実習Ⅱ	2後	2			+	1		1			届出教員体調不良のため、変更(22)
	保育実習Ⅲ	3前	2			1						
	総合演習Ⅰ	3前 3後	1			1						「総合演習Ⅰ・Ⅱ」を3年次に履修するため、配当期を変更(22)
	総合演習Ⅱ	3後 4前	1			1						「総合演習Ⅰ・Ⅱ」を3年次に履修するため、配当年を変更(22)
	児童館実習	4後	2			1						
小計 (6科目)	—	2	11	0	2	1	0	1	1			

<子ども教育学部 子ども教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
子どもの教育と指導	生徒指導の研究(進路指導を含む)	3前		2			1					届出教員が非常勤講師へ変更のため(22)
	教育相談の研究(子ども理解及びカウンセリングを含む)	3後	2			1						
	接続期の発達と教育	3後		2		+						
	道徳教育の指導法	2後		2								
	特別活動の指導法	2後		1		1						
	小計 (5科目)					2	1	0	0	0		
	卒業研究	4通	4			7	5	4	1			
	中計 (120科目)	—	31	149	0	9	5	4	1	0		
自由選択科目	教育実習研究	3前			1	+	1	1			届出教員辞任のため、変更(22) 法改正により科目追加(22) 届出教員退職のため、変更(22) 届出教員退職のため、変更(22) 特別支援教育課程認定に伴い、配当年を変更(22)	
	教職実践演習	4後			1		1	1				
	教育実習Ⅰ	3前			2	+		1				
	教育実習Ⅱ	3後			2	+		1				
	教育実習Ⅲ	3前			2		1					
	教育実習Ⅳ	3後			2		1					
	初等教育方法論(情報機器および教材の活用を含む)	2前			2	1						
	小学校教育課程論	2後			2	1						
	幼稚園教育課程論	2後			2	1						
	視覚障害児教育総論	3前			1		1					
	聴覚障害児教育総論	3前			1		1					
	特別支援学校教育実習	4前			3		1					
	小計 (12科目)	—	0	0	21	2	2	1	0	0		
合	計 (171科目)	—	48	186	21	9	5	4	1	0		

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え直し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 ・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え直し修正してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	特別支援学校教諭第一種免許課程認定のため、15科目追加(21) 一般教養科目2科目、自由科目1科目追加(22)
38	108	8	154	39	121	12	172	
				[ 1 ]	[ 13 ]	[ 4 ]	[ 18 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	人間形成論	2	1	一般	選択	届出教員の体調不良による。代替措置無。
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員の体調を考慮し、「人間形成論」を未開講とした。今後、担当教員の状況を勘案しながら、対応を検討する。なお、学生へはオリエンテーションならびに案内掲示にて周知を行った。

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	作陽音楽短期大学（収 容定員160人）と共用		
	校 舎 敷 地	0 m <sup>2</sup>	109,264 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	109,264 m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	0 m <sup>2</sup>	13,440 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	13,440 m <sup>2</sup>			
	小 計	0 m <sup>2</sup>	122,704 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	122,704 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	合 計	0 m <sup>2</sup>	122,704 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	122,704 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	0 m <sup>2</sup>	32,778 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	作陽音楽短期大学と共 用		
	( 0 m <sup>2</sup> )	( 32,778 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	音楽学部・食文化学部 と共用も含む		
	24 室	4 室	12 室	2 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	子ども教育学部子ども教育学科			19 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
		子ども教育学部	6300 [ 470 ] ( 13,546 [ 988 ])	33 [ 3 ] ( 36 [ 3 ])	0 [ ] ( 0 [ ])	225 ( 258 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,766 m <sup>2</sup>		182		180,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,470 m <sup>2</sup>		なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体
		教員1人当り研究費等	400 千円	350 千円 400 千円	図書購入費	5,650 千円	360 千円	
	共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	57,000 千円	0 千円	0 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,250 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	該当なし	該当なし	
学生納付金以外の維持方法の概要		市立大学棟経常費補助金、寄附金、資産運用収入、雑収入等						

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3)教室等」「(5)図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	くらしき作陽大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
音楽学部	年	人	3年次	人		倍		岡山県倉敷市玉島長尾3515番地	
音楽学科	4	80	15	405	学士(音楽)	0.68	昭和41年度		
音楽教育学科	4	50	5	225	学士(音楽)	0.61	昭和50年度		
大学院									
音楽研究科	2	10		20	修士(音楽)	1.1	平成22年度		
食文化学部						0.81			
現代食文化学科	4	50	0	200	学士(食物)	0.81	平成9年度		
食産業学科	4	30	0	150	学士(食物)	0.46	平成14年度		
栄養学科	4	80	16	352	学士(食物)	0.95	平成14年度		
大学の名称	作陽音楽短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
音楽学科	年	人	年次	人		倍		岡山県倉敷市玉島長尾3524番地	
	2	80	人	160	短期大学士	0.68	昭和38年度		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<子ども教育学部 子ども教育学科>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	菅原伸康(41)	平成20年4月	ピアヘルパー	兼任	講師	菅原伸康(43)	平成22年4月	ピアヘルパー	平成22年4月 菅原伸康准教授退職による職名変更(22)
専	教授	福井敏雄(53)	平成20年4月	保育原理 I	兼任	講師	横松友義(45)	平成22年4月	保育原理 I	平成22年4月 福井敏雄教授の体調不良による担当者の変更(22)

<共通>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	松浦加寿子(34)	平成20年4月	英語Ⅱ 英語Ⅰ	兼任	准教授	磯野達也(45)	平成22年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	平成22年4月 磯野達也准教授海外研修帰国による担当者の変更(22)

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

### (2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	6	3	1	19	0	10	5	4	1	20	0	
(7)	(6)	(3)	(1)	(18)	(0)	[1]	[Δ1]	[1]	[0]	[1]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	菅原伸康	健康上の理由
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特別支援学校教諭の課程認定は、発足して1年目で本学部としては重要な資格として位置づけている。そのため、辞任後も菅原伸康先生非常勤講師として週一回の割合で本学部の関係授業の実施を依頼している。それと同時に、後任人事として候補者を選定している。学生にはオリエンテーションの際に、研究ゼミ担当学生と関係受講者に周知し、動揺をきたさないよう配慮した。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <子ども教育学部 子ども教育学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①特別支援学校教諭第一種免許課程認定	①特別支援学校教諭の免許取得を目指すため、15科目(必修10科目21単位、選択5科目8単位)を追加
②科目追加 自由科目1科目、一般教養1科目	②法改正による自由科目1科目1単位の追加、及び学生の基礎教養を深めるため、一般教養科目(選択2単位)を追加

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、全学組織としてFD活動推進のために教育支援活動プロジェクト（FD・SD委員会、研究推進委員会、教職課程運営部会等で構成）を設置している。その他教員の資質の維持向上に関する取組みは、自己点検評価委員会でも実施している。いずれも理事長直轄の改革会議・運営会議がそれぞれを統括している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成19年度に改革会議において「西日本一の学園」を目標にビジョンを策定した中期計画を立てた。その執行組織の一角をなす教育支援活動プロジェクトが中期計画の進捗状況を毎月の改革会議で発表することになっており、平成21年度もFD・SD委員会は定例で開催され、新たに「教育内容等の改善のための組織的な研修等に関する内規」を制定した。 また、『自己点検・評価報告書』作成に向け、自己点検評価委員会も定例で開催されている。 これらの会議への子ども教育学部教員の参加は、いずれも9割以上という高い割合で出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・SD委員会……………教員の教育能力の向上、授業評価アンケートの内容及び活用方法 研究推進委員会……………研究活動の活性化 教職課程運営部会……………教職課程の理念と目的を策定、教職ポートフォリオの検討 自己点検評価委員会……………教育研究活動の状況の点検・評価及び改善</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員の教育研究活動の結果を取りまとめた『教育と研究』を毎年発行している。</li> <li>・ 学生による「授業改善のためのアンケート」を毎年各期ごとに実施している。</li> <li>・ 新任教職員研修会及び全教職員会議（年間3回）開催し、FDに関するシンポジウムも開催した。</li> <li>・ 教職員が、教育目的を建学の精神に沿って書いたレポートをまとめた『「建学の精神」にかえる』を毎年刊行している。</li> <li>・ FD・SDを目的に教職員を対象とした宿泊研修「ワークショップ」を毎年実施している。</li> <li>・ 『自己点検・評価報告書』を作成している。</li> <li>・ 大学院の設置を検討し実施した。</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>上記取組み活動は、改革会議及び教育支援プロジェクト等が中心となって企画し、各担当部署の運営によって実施されている。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>②aに記載した活動は、平成9年度から実施しているものもあり、FD活動に高い実績と効果を上げている。特に子ども教育学部の教員も積極的に参加し、いずれも9割以上の参加という高い割合が実績として残されている。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>上記のように多角的観点から教員の資質の維持向上の取組み活動が実施されている。特に「授業改善のためのアンケート」の集計結果を基に次年度の『シラバス』の見直しを図っている。また、平成16年度導入の人事評価制度により、学部長・学科長は各教員に毎年教員個人から提出される「業績貢献自己報告書」を基に評価し、今後の教育・研究・学生指導に活かされるフィードバックを行っている。</p>
--

## 7 その他全般的事項

<子ども教育学部 子ども教育学科>

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成22年7月1日 公表

b 公表方法

・教職員・学生が自由に閲覧できるよう「自己点検・評価報告書」を図書館に配架する予定(平成22年7月1日)

・大学ホームページ上に公開予定(平成22年7月1日)

③ 認証評価を受ける計画

・平成19年度に評価機関(財団法人 日本高等教育評価機構)の評価を受け、次回平成26年度の受審を予定している。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は今回で完成時の2年目を終了した。申請文書にも謳ったとおり、乳幼児・児童期は、生涯にわたる人間形成の基礎を育み、人間として心豊かにいきいきとたくましく生きる力が培われる極めて重要な時期である。子ども教育学部では、心豊かな人間教育をベースに理論的・応用的及び実践的な教育研究を行い、現代社会に要請される高度な専門的能力を踏まえ、この重要な時期の保育、教育、及び子育て支援等に従事できる人材を育成することを目的としている。また、本学の建学の精神である大乘仏教の精神を基盤に、人間性豊かな情操教育と宗教的精神を涵養することを使命としている。

最近の傾向として、子どもの基本的習慣、自制心、忍耐力の欠如が問題になっており、子どもを取り巻く環境問題もより深刻となっている。そのため家庭や地域の子育て支援を担う人材養成、幼少等の教育機関との連携の強化・改善、高い専門性と多様なニーズに対応した教員養成の充実が要請されている。具体的に述べるならば、①子どもの教育に関しても十分な知識と技能を有する保育士、②家庭子育て支援、地域子育て支援従事者、③特別支援教育の専門家、④音楽と食育に強い保育士等を養成するよう設置された。主たる国家資格としては保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、民間資格としては児童厚生一級指導員、ピアヘルパー、認定ベビーシッター等を取得させている。

本学部では、こうした目的と特色に対応するために、教養教育課程の「アセンブリー・アワー」(音楽教育を含む)、「宗教」等において、建学の精神に関する宗教的教養を養成すると同時に豊かな人間性を涵養するための情操教育の育成に努めている。また、初年次教育としての「教養基礎」及び「教養ゼミ」においては、教員2人ずつを10班に編成し、アドバイザー体制を導入して面倒見のよい緻密な指導を行っている。また、本授業においては大学教育の導入、展開を重視し、文章やレポート、論文の書き方、図書館等の情報教育、保育士及び幼稚園・小学校教諭経験者等による実践の理解と動機づけ、さらには専門課程での進路やキャリア形成を徹底し、きめ細かな指導体制による成果を得ている。2年生に対しては、アドバイザーゼミから、本人の希望する免許・資格に従って、指導教員を決め、研究ゼミの所属を新たに決めさせ、指導体制をより専門化した。

こうした教養教育を基盤に、本学部の専門教育課程では、各部署、各委員会とも連携して教育研究を活性化させながら、教育学や心理学を基礎に、教育現場の実践に強い教育を標榜し、カウンセリング技術や実践的な能力開発を促進している。「食育に強い」学生を育成するために、他学部や学会とも連携を取り、講演会を開催して、学生に参加を促している。また、「音楽に強い」学生を育成するために、「音楽Ⅰ・Ⅱ(ピアノ)」の授業では個人レッスンを導入して、大きな成果を挙げている。また、家庭や地域の子育て実践に役立つ教育として、図画工作、人形劇や絵本の読み聞かせ等も、授業や児童活動部(20名以上参加)を中心に展開して、その成果を地域社会で30回以上にわたって発表することで、地域への活動を促進し、地域から高い評価を得ている。「教育実習」や「子ども文化論」等も実践的対応のために開講セメスターを早めた。2年次生は20日間にわたる保育実習も無事に終了し、各機関の高い評価を受けると同時に、学生の充実度も向上した。

平成21年度には、当初の設置目的であった発達障害児の対応として、特別支援学校教諭一種免許状が取得できるように教員を新規に補充し、平成21年度から教育を実施している。

本学部の初年度の定員充足はほぼ達成しているが、2年時は64名と減少した。学生指導面では、これまで、退学者2名、休学者2名を数える。上述したように各班10名前後の学生に教員2名による指導体制を導入して、きめ細かな学習及び生活指導を実施し、休退学の低減にも努めている。また、2年次からは学生の進路や教員の専攻を反映した研究ゼミ体制も導入し、教育研究の専門性を高めた指導体制に移行している。学生募集では、学生参加型のオープンキャンパスも3年目を迎え、ほぼ300名の高校生の参加を得た。平成22年度入試においても、前年度までと比較して入学辞退者が大幅に減少し、開設後初めて定員確保を達成することが出来た。これも本学部が地域社会に認知されてきた理由の一つである。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ) ・ 無 )
- b 公表予定時期 ( 平成22年 7月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ) ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(http://www. )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。